

シグマ研究委員会

昭和56年度 第7回運営委員会議事録

日 時 : 昭和56年12月11日(金) 13:30 ~ 17:30
場 所 : 原研東海研 研2棟 222号室
出席者 : 原田(委員長, 原研)
中嶋(法大), 大竹(富士),
田中, 五十嵐, 菊池(原研)
オブザーバ: 白方(動燃), 松浦, 松本, 浅見(原研)

配布資料

1. 前回(56.10.30)議事録(案)
2. INDC/P(81)-26, Preliminary Survey on the Availability and quality of Evaluated Nuclear Data Important for INTOR design calculations
3. INDC/P(81)-29, NDS Meetings Proposed for 1982, 1983 and 1984, and IAEA/NDS Conference proposed for 1986
4. Specialists' Meeting on "Fast Neutron Scattering on Actinide Nuclei", Review Papers
5. Second Circular of 1982 Antwerp Conference
7. 医学用核データ, 原子分子データに関するアンケート調査集計報告(喜多尾憲助)
8. IAEA Advisory Group Meeting on Nuclear Data for Radiation Damage Assessment and Reactor Safety Aspects
9. 上記の Conclusions and Recommendations
10. Displacement Cross Sections in Neutron-Irradiated

Metals , T. Iwata et al .

11. Finalizing INDL/A by 1982
12. On the Future Computer Requirements of the NEA Data Bank
13. 長谷川氏からの資料

議 事

1. オブザーバの紹介

新たにオブザーバとして出席することになった白方氏（動燃）及び松浦氏（原研）の紹介があった。

2. 前回議事録確認

資料(1)により確認を行った。

3. 事務局報告

(1) 研究会会計報告（浅見）

11月26、27日に行われた核データ研究会の参加者数・経費等について報告があった。参加者は63名（所外37，所内26），経費（主に旅費）は約49万円であり，ほぼ予定どおりであった。

(2) 荷電粒子核データグループとの会合報告（五十嵐）

11月12日に行われた田中一氏（北大）らのグループとの会合の概要について報告があった。その中で，来年度の物理学会の際に核データについてのシンポジウムを計画することが報告された。

(3) Behrens氏との会合報告（五十嵐）

11月5日に，カールスルーエのBehrens氏が来所した際の会合について報告があった。

(4) 元田氏との会合報告（五十嵐）

NEA事務局次長の元田氏と核データセンターとの話し合いについて説明があった。

(5) INDC. NEANDC資料の紹介（五十嵐）

資料(2), (3), (4)について概略の説明があった。

(6) Antwerp Conf の 2nd Circular (五十嵐)

資料(5)の紹介があった, 発表論文の抄録の締切りは3月1日である。この件のアナウンスを物理学会及び原子力学会の案内欄に出す。

また, NEANDCの第24回会合の日本開催の可能性について問合せのあったことが紹介された(資料(6))。

(7) 特殊目的の核データ調査のための小委員会報告(五十嵐)

西村和明氏が小委員長を引き受けてくれた。西村氏と相談の上, メンバーを松延, 飯島, 梅沢, 松浦, 浅見の各氏とし, 12月23日に第1回の会合を行う予定である。

(8) 監査小委(田中)

1月早々に会合を開きたいとの報告があった。

4. NEA Data Bank の計算機機種を選定について

田中氏より, 資料(12)をもとに, NEA Data Bank の計算機の現状及び将来計画とくに計算機機種を選定についての日本側の意見の概要について説明があった。

5. IAEA Advisory Group Meeting on Nuclear Data for Radiation Damage Assessment and Reactor Safety Aspects
出席報告

岩田氏(原研, 物理部)から, 資料(8), (9)により標記の会合に出席した際の討議や recommendation 等の概要について報告があった。また, この会合で発表した論文(資料(10))についても説明があった(詳細略)。

6. NEA Data Bank の現状について

長谷川氏(原研, 原工部)から, NEA Data Bank に3年間滞在して行った仕事の概要及び Data Bank の現状等について資料(13)を用いて説明があった(詳細略)。

7. 医学用核及び原子分子データのアンケート調査結果について

原田氏から, 喜多尾氏(放医研)がまとめたアンケート調査の集計結果(資料

(7)の概要について説明があった。この結果は、12月7日の ad-hoc 委員会においても報告した。今後は、集計結果を JAERI-memo にまとめアンケート調査の協力者に配布する予定である。

8. 第12回 INDC 会合報告

原田氏から、10月5日～9日にIAEAの本部で行われた第12回 INDC 会合の概要、トピックス等について資料(2)、(3)を用いて説明があった(詳細略)。

9. アクチナイド核データ評価の調整委員会報告

原田氏より、上記の INDC 会合に引き続いて行われた標記の会合の概要について資料(11)を用いて説明があった。このプロジェクトは来年終了するが、次の phase をどうするかを検討している。

10. 学会特別会合について

五十嵐氏より、来年春の学会における特別会合のプログラムについての梶山氏の意見の紹介があり討議を行った。その結果、昼休みにはやらないこととし、次のテーマを採り上げることにした。

(1) 熱中性子炉体系標準コードシステム (SRAC) の現状

原研 石黒氏又は土橋氏

(2) 崩壊熱の測定と解析

東大 秋山氏及び NAIG 吉田氏

(3) INDC 会合報告 原研 原田氏

11. 専門部会・WGの改組について

菊池氏より、核データ専門部会内のWGの編成がえのため、まず核データ専門部会WGのリーダーの会合を12月18日に行うとの説明があった。なお、他の専門部会WGについては事務局から各リーダーへ連絡して次回までに検討するよう要請することにした。

次回は1月22日(金) 11時より原研本部で行う予定